

# 市政を問う 一般質問

## ごみ分別収集と指定ごみ袋 廃食油の回収と活用

無所属 川村孝好 議員

### 分別収集

**【問】** 合併に伴い、本年4月からごみの分別方法が統一化され、分別方法が変わったり、厳しくなった地域も生じた。現在の状況は。

**【答】** ごみの出し方を統一し、容器包装プラスチックのリサイクルを市内全域に拡大するなどの変更を行った。4月当初は、容器包装に該当するかどうかに関する問い合わせのほか、一部地域では月2回のネット収集から週1回の袋収集への変更等により住民の戸惑いもあったが、現在は落ち着いてきたと考える。

### 指定ごみ袋

**【問】** 容器包装プラスチックの回収方法変更に伴い、一部の自



(ごみ袋)

**【答】** ごみ袋の入荷状況、販売状況、各家庭の旧ごみ袋の在庫状況等を考慮したものである。現場の状況をきちんと調査・把握して方針が決定されたかどうかなどを反省し、今後の行政に生かしていく。

### 廃食油

**【問】** 廃食油の回収と活用の現状は。また、利便性の向上と回収量の増加を図るため、ペットボトルによる回収を提案するがどうか。

**【答】** 16年度は旧2市町で実施し、約1万1、230リットルが回収され、ごみ収集車の燃料として再使用した。今後、全地域展開を考えており、提案の方法も含め十分検討し、回収が進むよう努力したい。

## 介護保険見直し／介護手当 平和都市を目指して

日本共産党 稲垣あや子 議員

### 介護保険

**【問】** 介護保険制度の見直しより、従来の「要支援や要介護1」の利用者の多くを新予防給付のみの対象とし、特別養護老人ホーム等への入所者の居住費や食費を自己負担化

度実施を見据え検討したい。施設入所者自己負担は、要介護5で多床室利用の場合、月額約3万円の増額と推計する。

### 介護手当

**【問】** 旧竜洋町や旧豊岡村で実施していた一般財源による寝たきり老人等の介護手当金制度が廃止され、国の制度である家族介護慰労金事業のみとなった。介護手当の廃止理由、制度復活の考えは。

**【答】** 介護手当は、介護保険制度開始前に創設されたもので、要介護者を社会全体で支えるという介護保険



## (仮称)総合福祉会館 地震対策／学校給食の課題

日本共産党 高梨俊弘 議員

### 総合福祉会館

**【問】** (仮称)総合福祉会館の位置づけ、建設への決意は。

**【答】** 総合型福祉施設整備事業として、新市まちづくり計画の重点プロジェクトに位置づけられている。できる限り早期の建設に努力したい。

制度との整合性等が議論され、合併時に廃止された。高齢者福祉関係予算をどこへ重点的に配分していくかの観点から、紙おむつ購入費助成等には手

当金を上回る予算措置を行っており、現在のところ、制度復活の考えはない。

### 平和都市

**【問】** 自治体として非核平和都市宣言を行う考えは。  
**【答】** 議会と相談しながら協議していきたい。

**【問】** 平和教育や平和行政はどのように推進するのか。  
**【答】** 中学校における原爆パネル展の継続、平和図書

**【問】** 施設の概要、事業規模、整備期間、財源、管理運営計画の考えは。  
**【答】** 保健福祉の中心的役割を果たす施設としたい。事業費は約20億円で財源は合併特例債を想定し、20年度の供用開始を考えている。管理方法は検討を重ねていきたい。

地震対策

木造住宅耐震補強工事の取り組み状況と課題は、

【問】 県補助事業は14年度に創設され、本年度より30万円の上乗せ補助を行う。

【答】 より多く補強工事を実施していただくことが課題で、引き続き積極的PR活動に努める。

【問】 学校施設の耐震診断の実施状況、耐震化の実施方法と今後の計画は。

【答】 診断は4月1日現在、小学校は100%、中学校は校舎が95%、体育館が100%、幼稚園舎は72%である。補強方式を進めており、体育館の

耐震化を18年度から5年間で実施できればと考えている。

学校給食

【問】 新市における学校給食の課題と福田学校給食センター建てかえ計画の内容は。また、保護者に対し計画はどのよう

【答】 安全な給食の提供が最優先事項であり、老朽化した当該施設と磐田学校給食センターは統合整備が望ましいと合意した経過がある。保護者からは緊急性等の面から理解されると判断する。



女性専門外来の設置  
子供の健全育成／子育て支援

女性専門外来

【問】 中東遠の中核病院として、市立総合病院に県下一番目の女性専門外来設置を。

【答】 女性医師の継続的確保が難しく現段階では困難であり、検討課題としたい。



【問】 女性特有の身体精神

公明党 山際今子 議員

【答】 的な悩みを相談できる窓口設置の考えは。

【問】 8月からの毎週2回（火曜・金曜）の窓口開設に向け検討を進めている。

【答】 子供の健全育成 放課後に校庭や体育館を利用して取り組む子ども教室の現状、今後の考えは。

【問】 現在、青城小学校区、福田小・豊浜小学校区、

竜洋西小学校区の3カ所で実施している。今後、事業形態や教室のあり方等を検討しながら、各地域でより充実した活動を実施していきたい。

【問】 子供自身が自分の身を守る防犯訓練として、CAP（子供の暴力防止教育プログラム）の導入は。

【答】 16年度は旧市町村全体で11校7園で実施し、本

線引き見直しと人口増加策  
行財政改革の取り組み

線引き

【問】 昭和51年の市街化区域と市街化調整区域の線引き以降、地域間格差が増幅したように受けとめるか。

【答】 無秩序な開発を防止する一方で、地域活性化や人口増加を抑制してきたことは事実で、北部では人口減少により、コミュニティが保たれないなどの問題を抱える区域があることも認識している。

【問】 新市が目指す人口20万人構想において、人口増を図る受け皿づくりとして、北部における線引き見直しの

年度は現在6校3園で予定している。学校や子供の実態に応じた指導が進められるよう努力したい。

子育て支援

【問】 妊婦への配慮等を求めるため、妊娠バツジを普及する考えは。

【答】 妊産婦へのやさしい環境づくりは大切であり、提案を含め検討していきたい。

【問】 病気回復期にあるが、家庭事情等で看護が十分できない児童などに対する病後児保育の現状と事業展開は。

【答】 3保育園（このとり東・このとり・みなみしま）で実施している。今後、実施地区の偏りが無いよう計画的に配置していきたい。

無所属 鈴木昭二 議員

【問】 考えは。また、北部・中央・南部各地域の人口数値をどう設定しているのか。

【答】 都市計画マスタープラン策定の中で見直しを検討していく。エリアごとの人口目標は未定で、総合計画等策定過程で明確にする人口推計をもとに、どう目標値を設定するかが課題となってくる。

行財政改革

【問】 職員削減目標を3割増の340人とした根拠は。

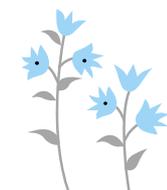
【答】 業務のスクラップ・アンド・ビルドの徹底や民間委託の推進等により、さら

【問】 痛みが伴う行財政改革に対する配慮は。

【答】 行政サービスの見直しには、市民への情報提供と十分な説明が必要と考える。人事管理では、能力・実績主義へ転換を進め、職員の士気高揚等につなげていきたい。

【問】 期間と費用を要する人材育成にどう取り組むか。

【答】 政策形成能力の向上、改革姿勢や成果の適正評価などを主眼に、人事考課制度を活用しながら進めていく。



### 新市の運営 南部地域救急医療機関

無所属 山田安邦 議員

#### 新市運営

**【問】** 今後15年間の中長期財政計画は。

**【答】** 総合計画と表裏一体という観点で10年間程度の財政見込みの中で、財政計画期間は5年を想定している。

**【問】** 市長のローカルマネージメントにある340人職員数削減の具体的年次計画は。

**【答】** 退職者数等を把握する中で定員適正化計画を策定し、計画の中で具体的目標数値を示していきたい。

**【問】** 今後の本庁と支所の行政サービスのすみ分けと支所運営の考え方は。

**【答】** 本庁では市全体に係る政策や施策など総合的な調整事務等を、支所は窓口における住民対応など管理部門を除いたサービスを総合的に行う。今後はサービスの水準を下げないよう留意しながら、支所業務は段階的に本庁へ統合再編していく。

**【問】** 旧病院跡地に（仮称）総合福祉会館ではなく、

十分考慮し、旧病院跡地を含めた将来の建設構想の可能性を奪わないよう配慮したい。

#### 南部救急医療機関

**【問】** 南部救急医療機関の設置時期を、新市まちづくり計画の後期から前期へと前倒して実施すると公約している。実施年度見込み、建設に向けての市長の決意と今後のビジョンは。

**【答】** 現時点では新庁舎建設の考えはないが、提言を

### 大型事業 市民の心配事への対応

無所属 玉田文江 議員

#### 大型事業

**【問】** 予定される大型事業の洗い出しと長期計画は。

**【答】** 18年度中に長期的行政経営の基本指針となる総合計画を策定予定で、そこで大型事業等も洗い出していく。

**【問】** 新ごみ処理施設計画の現候補地での同意プロセス、処理方法と規模は。

**【答】** 15年11月から予定地周辺5自治会を中心に説明会を開催し、建設への理解と

15年11月から予定地周辺5自治会を中心に説明会を開催し、建設への理解と

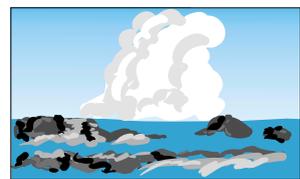


（女性相談室）

**【問】** 女性相談事業を踏まえ、予算化と現相談室の適

**【答】** 女性相談事業を踏まえ、予算化と現相談室の適

中東遠地域の増設可能病床数が示され、検討の幅が広がったことで検討時期を前倒した。南部救急医療機関検討会の中で検討したい。



切な場所への移動検討を。

**【答】** 相談体制の充実が急務と考え、相談員2名の交代勤務により、週5日の対応とした。相談室の場所の検討はやぶさかではない。

**【問】** 産業振興政策

**【答】** 企業誘致の方法、優遇策、誘致対象企業の条件や業種は。

**【問】** 県との連携を図り、金融機関等と連絡を密にするよう努めている。私自身もトップセールスに努める決意である。優遇策は規模等の条件はあるが、磐田市産業立地

**【答】** 県との連携を図り、金融機関等と連絡を密にするよう努めている。私自身もトップセールスに努める決意である。優遇策は規模等の条件はあるが、磐田市産業立地

無所属 宮澤博行 議員

促進事業費補助金等の補助金を用意しており、本年4月以降に用地取得等を行った企業を対象に適用したい。企業の研究施設などの立地を希望する。

**【問】** 産業振興計画の方針や内容は。また計画策定は年度内にすべきと考えるが。

**【答】** 産業振興計画の方針や内容は。また計画策定は年度内にすべきと考えるが。

工業など主要事業の推進施策とあわせて商業や

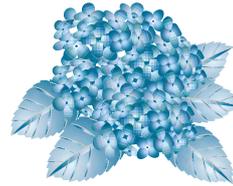
工業など主要事業の推進施策とあわせて商業や

サービ入業の今後の方向性を示す計画としたい。本年度は基礎調査を、来年度には具体的施策を盛り込んだ計画を策定していく予定だが、なるべく早くつくるよう努力したい。

ごみ問題

【問】 新ごみ処理場の処理方式、建設と操業の時期は。

【答】 処理方式は総合的な視点から検討したい。19年度から建設に着手し、22年4月ぐらいを供用開始の目標として計画を進めたい。



【問】 ごみ袋の切りかえの経緯と市民や業者の混乱等についての見解は。

【答】 旧磐田市のごみを考える会や自治会連合会から受け、5市町村の協議により、容器包装プラスチックは無色透明袋による収集を計画した袋変更のお知らせが、おくれたことや3月末に袋の入手が困難になつたことにより混乱が生じてしまい、申しわけなかった。

（その他の質問事項）  
磐田市経営の力点

新市の17年度予算  
市長の選挙公約

日本共産党 根津康広 議員

17年度予算

【問】 国の「三位一体の改革」は、分権とは名ばかりで、地方財政を圧迫している。改革に対する現状の見解は。また市財政への影響は。

【答】 改革の目的は真の地方分権の実現、地方の自立にあるが、現時点では単なる国のための財政改革と考える。国庫補助削減の影響は約5億

【問】 円だが、国からの移譲額は約5億8千万円を見込んでいます。新規事業と合併特例債事業の内容は。

【答】 新規事業は大藤下増線の新設などがある。特例債事業は、県等との交渉で活用が明確になったものを補正予算で対応したい。

【問】 支所施設の有効活用策は。

【答】 市民の声などを求める中で、積極的な利用方法を考えたい。

選挙公約

【問】 職員削減数を新市まちづくり計画の3割増、340人とし、歳出削減は民間活力を活用して195億円としたそれぞれの根拠は。

【答】 組織機構の見直しなどにより行政水準は確保しながら計画以上の削減は可能と考えた。歳出削減は目標値として示したもので、具体化は今後の市政の中で取り組む。

【問】 南部救急医療機関の建設時期を早めようとする理由と今後の計画内容は。

【答】 県保健医療計画の変更により検討の幅が広がったため前倒しすることとした。規模等は南部救急医療機関検討会で検討したい。

【問】 国民宿舎遠州ふくて荘建設の今後の計画は。

【答】 今年度基本構想を策定し、財源確保など効率的な手法を踏まえ検討したい。

【問】 新市の福祉施策を総合的に推進する上で旧病院跡地での整備が適切と考える。支所の活用は別途検討する。



(遠州ふくて荘)

事業見直しの具現化を  
新市の教育諸課題

無所属 鈴木晴久 議員

事業見直し

【問】 将来の磐田市発展にどう必要か否かという原点に立ち返り事業を見直すべきと考えるが見解は。

【答】 真に必要なか否かの視点で事業の見直しや判断をすべきと考える。

【問】 (仮称)総合福祉会館などのハコモノは各支所などの利活用を優先すべきと考えるが。

【答】 新市の福祉施策を総合的に推進する上で旧病院跡地での整備が適切と考える。支所の活用は別途検討する。

【問】 市立総合病院がさらに信頼される医療機関になるためには、医療体制の整備を最優先すべきと考えるが。

【答】 医療体制の向上を目指すことに努力していく。

【問】 南部救急医療機関の検討には明確なサーーチと経営分析を前提にすべきと考えるが。

【答】 南部救急医療機関検討には明確なサーーチと経営分析を前提にすべきと考えるが。



教育

【問】 35人学級充実のため、「ふるさと先生」の意欲向上策は。また課題は。

【答】 計画的に研修を行い、資質の向上と共に指導上の悩みを聞く機会を設けるなど、一人一人の教員への支援を図っていく。課題は必要な教室の確保などがある。

【問】 通学区域の弾力化を推進し、隣接校選択制の導入を。

【答】 本市の実情に即した隣接校の選択制導入に向け積極的に検討したい。

### 市長選挙と助役選任 地域審議会と市民意識

無所属 渡部 修 議員

#### 市長選挙と助役選任

**【問】** 順調と言われた合併だが、結果として旧首長間で新市を二分した激しい選挙戦になった。率直な見解は。

**【答】** 地域対抗戦による新市運営上の悪影響への懸念から、選挙は避けなかった。今後、政策的な論点の掘り下げと5地域の融和に取り組む。

**【問】** 助役選任について、市長と旧村長という首長同士

**【答】** 判断力、地域性や市長との相互関係を考慮した結果、現状で考えられる最適の人物を選任できたと確信する。

#### 地域審議会と市民意識

**【問】** 審議会の権限、機能、位置づけをどう認識しているか。設置の



(福岡支所)

是非については賛否両論あったが危惧される点は。

**【答】** 合併により住民の意見が新市の施策に反映されるため、新市まちづくり計画

### 個人情報 の取り扱い 子育て支援

無所属 川崎和子 議員

#### 個人情報

**【問】** 市が持っている個人情報のうち、公共性の高い情報の範囲とその開示方法は

**【答】** 個人情報とは、氏名・生年月日等により特定の個人を識別できるものとされ、業務上個人情報の提供が必要なもの、あらかじめ本人の同意を得ておく等の取り扱いを検討する。

**【問】** 教育現場における個人情報の取り扱い。

**【答】** 情報の漏えい阻止は学校の責務であり、本人の同意があるときや緊急やむを得ない理由があるときなどを除いて第三者に情報提供はしていない。また、児童生徒には名簿等を第三者に見せないよう指導している。

の変更や執行状況、総合計画など各種計画への地域の意見を聴取する場と想定している。他の協議会等とのすみ分けとともに、地区ごとの第二の議会であるかのような誤解をされぬよう、一体性確保の観点から新市全体の振興を図る協議がされるよう配慮したい。

**【問】** 合併した新市に望む市民意識の第一義を何と認識しているか。

**【答】** 民間的な手法の導入、官と民との役割分担、大胆に民間の発想を取り入れるなど行財政改革に取り組むことを多くの市民が望んでいると認識している。私みずからその姿勢に立ち市政運営に臨む決意である。

**【問】** 地域子育て支援センターの機能強化の考えは。

**【答】** センターへの訪問利用だけでなく、各地区への出前による支援や世帯への訪問を実施するなど、関係機関

### 行財政改革の取り組み 都市計画の見直し

無所属 小木秀市 議員

#### 行財政改革

**【問】** 行革を行う前提となる職員の意識改革への取り組みは。

**【答】** 全職員参画による行財政改革大綱の策定等を行うなど、職員に行財政改革等の目的を共通認識させるため、私自身、確固たる方針を示し取り組む決意である。

との連携を強化し、利用者の声を聞きながら、機能の充実に努めたい。

**【問】** 児童館の耐震化の状況と対策は。

**【答】** 市内3施設のうち、福岡児童館は今年度に耐震診断の計画で、兎山児童館は改修の必要があると診断されている。順次改修整備を進めたい。



(子育て支援センター)

**【問】** 職員や市民からの行政改革提案制度を設ける考えは。

**【答】** 職員の建設的なアイデアや、役所のここを変えてはどうかといった市民の意見を聞く提案制度に取り組んでいきたい。民間企業の人事管理を導入する考えは。

**【答】** 新市では人事考課制度、目標管理制度を導入し、結果を昇格や給与面等に活用していく。これまでも自己申告や面接制度を導入し職員の見解を人事情報として活用し組織の活性化に努めるなど、民間的手法を導入している。職員の士気を高め、能力実績

主義への移行を進めたい。  
**都市計画**

**【問】** 地域の実情を踏まえた都市計画マスタープランをどのように作成するのか。

**【答】** 旧5市町村において策定されたマスタープラン、特に地区別構想については新市においても尊重していく。

### 福祉関連施策／ごみ問題 教育・雇用等の青少年施策

公明党 小野泰弘 議員

#### 福祉施策

**【問】** お年寄り等の外出支援のためタクシー券交付の拡充等の考えは。

**【答】** 新市では介護保険の認定者や障害のある方への年間交付枚数を最大48枚とし、高齢者を対象とした支給は全市域に拡大することでサービスの拡充を図った。

**【問】** 成年後見制度利用支援は、介護保険等の場合に限定されるのか。

**【答】** 対象は身寄りのない知的障害者等であり、介護保険制度に限定しない。



#### ごみ問題

**【問】** 資源物の土曜・日曜日拠点回収拡充の考えは。

**【答】** 拠点回収の拡大等は、回収場所の周辺住民や自治会との協力体制への影響を考慮し、慎重に検討すべきと考える。

**【問】** お年寄りや障害者を対象とした家庭ごみ等の戸別収集の充実は。

**【答】** 4月から全市域を対象とし、これまでの個数制限をなくしたほか、粗大ごみ以外も市で収集できるものすべてを収集の対象としている。また、70歳以上のみの世帯等一定範囲の世帯へは、手数料

全体構想は、意向調査等により住民意見を反映し総合計画基本構想等との整合を図りながら策定したい。

**【問】** 敷地地区の都市計画区域の見直しの考えは。

**【答】** 磐田市の一部だけを都市計画区域外に変更することは、制度上非常に難しい。

を免除し回収している。

#### 青少年施策

**【問】** 合併を記念し子ども模範議会開催の考えは。

**【答】** 本年度は小学生の代表が磐田市の将来像を語る事業を既に予定しているので、次年度実施に向け検討したい。

### 磐田市南部地域に 救急医療体制の充実を

無所属 早川勝次 議員

**【問】** (仮称)南部救急医療機関検討会における協議内容、構成、人数及び選出基準、期間は。

**【答】** 協議の前提として新市南部の医療需要の調査検討を進めた上で、検討会では、医療機関の機能、運営形態等の検討を行う予定である。構成は、医療の専門家や関係行

しかし現行の規制の中で、弾力的な対応ができる方法を今後研究・検討していきたい。



**【問】** 若者の雇用施策の今後の展開は。

**【答】** ハローワーク等の関係機関との連携強化の中で、ワークピア磐田の就職相談のあり方なども見直し、フリーター等の問題への対応を検討したい。

政機関をはじめ、地域性を考慮し人選していく。メンバー選定後、検討会は早期に開始し、期間は経過を考慮し、また人数については必要に応じて弾力的に対応していかなければならないと考える。

**【問】** 市立総合病院との共存共栄の実現のための方策は。

必要と考える。

**【答】** 南部救急医療機関が設立されれば、当然市立総合病院の経営に影響が出てくると思われる。庁内組織の中でも市立総合病院との相互関係のあり方、経営への影響等を含めて検討を進めていく予定である。検討の過程では専門機関での経営分析の活用も必要と考える。

**【問】** 南部救急医療機関の運営形態をどのように考えるのか。また、公設民間委託等導入の可能性は。

**【答】** 運営形態は検討会において検討を進めるが、効果的運営のため民間の知恵を入れた運営にチャレンジしていかなくてはと認識している。

**【問】** 建設事業の財源見通しは。

**【答】** 基本的に、合併特例債の活用を考えており、可能であると認識している。

**【問】** 建設時期は、新市まちづくり計画の前期か、後期か。

**【答】** 後期には建設に着手できるように努力していきたい。



# 国道150号の渋滞解消策 スポーツのまちづくり

無所属 大庭隆一 議員

## 渋滞解消策

**【問】** 国道150号バイパスの磐田市豊浜までの早期完工と、袋井市とのルート協議の早期開始の見通しは。

**【答】** 県では、17年度事業として仿僧川にかかる(仮称)新陸橋の下部工事や盛土工事を予定し、19年度の完了を目指している。一方、袋井市浅羽地区内の都市計画決定がなされていない

ので、袋井市へ期成同盟会の仲間として早期路線決定するよう働きかけていきたい。



(国道150号バイパス)

**【問】** 遠州大橋の無料化実現に向けた取り組みは。

**【答】** 利用も大幅に増えてきた現状を踏まえ、最良の方法を期成同盟会で協議し、国・県に対し要望していきたい。

**【問】** 高木大原線の早期着工と(仮称)飯高橋の早期架橋に向けた期成同盟会の力

強い取り組みを。

**【答】** 期成同盟会の事務局は磐田市であり、17年度は同盟会の検討資料とする概略設計を行いたい。今後、事業の促進活動活性化に努めていく。

## スポーツ

**【問】** スポーツのまちづくりの輪を全市域に拡大する方策は。

## 遠州豊田パーキングエリア 周辺の開発

無所属 鈴木正孝 議員

**【問】** 開発に当たり区画整理事業に取り組む考えは。

**【答】** 遠州豊田PA(パーキングエリア)周辺開発事業は、税込確保、雇用創出など新市発展のための最重要課題として取り組んでいく。

**【問】** 同事業への支援内容と今後の進め方は。

**【答】** 円滑に進むよう職員の方の技術的支援と補助金による財政的支援を考えている。

**【答】** スポーツによる健康づくりや地域活性化等に重点的に取り組む一方、ジュビロ磐田と連携を図り、本市の特色を生かしたまちづくりを進めたい。

**【問】** 生涯スポーツの取り組みに對しての施策は。

**【答】** 旧市町村単位の地域に根ざしたスポーツ大会など当面は特性を見きわめ、課題を認識するとともに関係団体等と連携を図り地域スポーツの推進に努めていく。



(遠州豊田PAスマートIC)

な手段と考える。

**【問】** 区画整理予定地の遺跡調査に対する取り組みは。

**【答】** 19年度末に現地調査終了予定であるが、調査により企業誘致に支障が生じてはならない。事業推進のため職員の配置、増員、民間調査員活用等検討し、スピード重視を第一に考えていく。

**【問】** スマートICの利用方向拡大のための対応策は。

**【答】** 現在は遠州豊田PAから下り線へのみ乗り入れ可能だが、機能として極めて不十分である。今後、機能を拡大した社会実験を要望していかねければならない。そのための利用促進策として、補助金交付は効果的な手段と考え、昨年度の補助金交付制度を参考に検討を進めていく。

1 ETC車載機と専用カードの利用により、従来のICと比べ簡単に設置ができる無人のIC

## 人事議案

養護老人ホームとよおか管理組合議会議員

鈴木 正孝

議会推薦の農業委員

野崎 正藏 八木 啓仁  
藤森 康行 高安 和雄

## 本会議の様子を 放映しています

市役所本庁舎及び各支所の1階ホールで本会議の様子をテレビ放映しています。議場まで来ることができない方は、こちらをご覧ください。



(支所で放映の様子)

# 新市の市政運営 総合公共交通計画

無所属 八木啓仁 議員

## 市政運営

**【問】** 新市まちづくり計画における主要事業の考え方と進め方は。

**【答】** 新市まちづくり計画は、合併協定とともに作成した合併合意前提の計画と認識している。盛り込まれた事業は推進していくこととし、基本計画では、旧市町村事業の体系化、重点化の方針や優先順位の明確化、財政との整合を図っていきたい。

**【問】** 合併特例債の考え方と活用内容は。

**【答】** 合併特例債は、充当率が95%、元利償還金の70%が普通交付税措置される大変有利な起債である。財政運営に配慮し、広域的基盤整備等効果のあるものに活用したい。

今年度は、大藤下神増線、岩田1号線をはじめとする道路関係事業や防災無線整備事業等を予定している。また、10年間



(自主運行バス)

自主運行バスは、合併前の旧市町村独自の運行方法が存続しているため、早期に一元化を図っていく必要がある。総合公共交通計画を策定する中で検討したい。

の特例債事業枠約550億円のうち350億円程度の事業を想定している。

## 公共交通計画

**【問】** 総合公共交通計画の内容は。

**【答】** 総合公共交通計画は、新市の一体的で総合的な公共交通網の形成を図ることを目的とし、交通弱者の足の確保、バス交通空白地域での運行、目的ごとの運行、民間バスを含めた路線のあり方、その他の代替方法や料金の見直しなどを重要ポイントに、今後、市民会議等を開催する中で策定を図りたい。

**【問】** 自主運行バスの早期運用統一の考え方は。

## ◎地方六団体改革案の早期実現に関する意見書(要旨)

(内閣総理・総務・財務・郵政民営化経済財政政策担当大臣、内閣官房長官、衆議院・参議院議長あて)

地方六団体は、地方分権の理念に沿った三位一体の改革を実現すべく、昨年8月に改革案を内閣総理大臣に提出した。

しかし、政府・与党合意税源移譲案は、多くの課題が先送りをされている状況にある。

よって、国におかれては、真の改革実現を図るため、残された課題につき、地方六団体の提案を踏まえ、改革案の実現を強く求めるものである。

- 1 地方六団体の改革案を踏まえた3兆円規模の税源移譲を確実に実現すること。
- 2 生活保護・義務教育費国庫負担金等の最終的な取り扱いは、国と地方で協議・決定し負担率の引き下げは認められないこと。
- 3 地方六団体の改革案を優先して実施すること。
- 4 地方六団体第2期改革案について、政府方針を早期に明示すること。
- 5 地方交付税制度は、地方公共団体の財政運営に支障が生じないよう、交付税総額を確保するとともに、財源保障機能、財源調整機能を充実強化すること。

## ◎地方議会制度の充実強化に関する意見書(要旨)

(内閣総理・総務大臣、衆議院・参議院議長あて)

今日、三位一体の改革などが進められる中、議会は、執行機関に対する監視機能を強化し、政策を発信していく必要がある。

地方議会は、住民自治の代表機関であり、機能の充実、活性化を図ることが求められている。議会が自主・自律性をより発揮できる議会改革なくして、地方分権改革は完結しない。

議会が、これらの環境に対応した機能を十分に発揮するためには、解決すべき制度的課題がある。

よって、国におかれては、①議長に議会招集権を付与すること、②委員会にも議案提出権を認めること、③議会に附属機関の設置を可能とすることなど、地方議会の権能強化及び活性化のため、制度改正が図られるよう強く求める。

## ◎高齢者の交通事故防止に関する決議(要旨)

旧磐南5市町村内で平成16年に発生した65歳以上の高齢者の交通事故は382件、死者数は8人と、15年に比較し、件数で14件、死者数では4人増加している。

多くの生命が交通事故で失われていることは残念で、交通事故のない社会の実現は、市民すべての願いであり、特に高齢化の進展に伴い、高齢者の交通安全対策が、市の重要な課題となつて

- ている。
- よって、本市議会は、市民一丸となって高齢者交通事故撲滅に邁進する決意をし、市当局に対し、高齢者交通事故防止対策として、次のとおり求めるものである。
- 1 高齢者交通安全教育の実施
  - 2 高齢者を守るネットワークづくり
  - 3 高齢者に配慮した交通安全施設や道路の整備

### 本会議・委員会を傍聴してみませんか

市政の様子を知るには、何といたっても議会の傍聴することが一番です。あなたが貴重な一票を投じた議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴を希望する方は、傍聴したい本会議または常任委員会等の当日、受付（本庁舎5階議会事務局内）で住所・氏名を記入し、傍聴券とバッジを受け取ってから、本庁舎6階の議場または委員会室にお入りください。団体の場合は、代表の方が手続きをしていただければ結構です。

### 9月定例会の予定

9月5日～10月11日（37日間）

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話37-4822）までお問い合わせください。

- 9月5日 本会議（議案の上程、説明）
  - 12日 本会議（一般会計決算に対する質疑）
  - 13日 本会議（特別・企業会計決算等に対する質疑）
  - 14日 本会議（一般質問）
  - 15日 本会議（一般質問）
  - 16日 本会議（一般質問）
  - 20日 本会議（一般質問予備日）
  - 21日 決算特別委員会
  - 22日 決算特別委員会
  - 26日 決算特別委員会（審査予備日）
  - 27日 決算特別委員会（審査予備日）
  - 28日 常任委員会
  - 29日 常任委員会
  - 30日 常任委員会
  - 10月3日 常任委員会
  - 4日 常任委員会（審査予備日）
  - 11日 本会議（議案の採決等）
- いずれも午前10時から

### 政治家の寄附等は禁止されています

政治家（候補者・候補者となる者・現に公職にある者）は、公職選挙法により選挙区内の人に対して寄附（政党や親族に対するものなどは除く）をしたり、あいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出したりすることは禁止されています。

したがって、政治家は、選挙区内の人に対して、御仏前、祭りの祝儀などを出すことはできませんので、ご理解をお願いいたします。

す。した。おわびして訂正いたしま

0111  
ました  
1が、と  
おわび  
びと  
して  
訂正  
いた  
しま

す。した。おわびして訂正いたしま

0111  
ました  
1が、と  
おわび  
びと  
して  
訂正  
いた  
しま

おわびと訂正

### ホームページを開設しています

磐田市のホームページからご覧になれます。議員の紹介、議会の日程、本会議・委員会の記録などを掲載しています。  
<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

### 審議結果一覧表

#### 全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 養護老人ホームとよおか管理組合を組織する地方公共団体の数の減及び規約変更
- (2) 専決処分( 監査委員事務局設置条例の制定 )
- (3) 専決処分( 磐田市外1組合公平委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定 )
- (4) 17年度磐田市外1組合公平委員会特別会計予算
- (5) 17年度土地取得事業特別会計予算
- (6) 17年度交通災害共済事業特別会計予算
- (7) 17年度老人保健特別会計予算
- (8) 17年度介護保険事業特別会計予算
- (9) 17年度農業集落排水事業特別会計予算
- (10) 17年度公共下水道事業特別会計予算
- (11) 17年度広瀬財産区特別会計予算
- (12) 17年度岩室財産区特別会計予算
- (13) 17年度虫生財産区特別会計予算
- (14) 17年度万瀬財産区特別会計予算
- (15) 17年度水道事業会計予算
- (16) 17年度病院事業会計予算
- (17) 17年度国民宿舎事業会計予算
- (18) 17年度駐車場事業特別会計予算
- (19) 名誉市民条例の制定
- (20) 表彰条例の制定
- (21) 磐田市民賞に関する条例の制定
- (22) 総合計画審議会条例の制定
- (23) 浜松市と磐田市との間の火葬に関する事務並びに斎場の設置及び管理に関する事務委託
- (24) 放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定
- (25) 駐車場事業特別会計条例の制定
- (26) 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定
- (27) 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (28) 固定資産評価員選任の同意
- (29) 敷地外四ヶ字財産区議会設置条例の制定
- (30) 地方六団体改革案の早期実現に関する意見書
- (31) 地方議会制度の充実強化に関する意見書
- (32) 高齢者の交通事故防止に関する決議

#### 賛成多数により可決された議案

- (1) 17年度一般会計予算
- (2) 17年度国民健康保険事業特別会計予算
- (3) 臨時行財政改革推進会議条例の制定
- (4) (仮称)総合福祉会館関連予算についての決議

これら賛成多数により可決された議案は、すべて討論が行われませんでした。

表決結果は次のとおりです。

- (1)(2)(3)の議案……賛成30( 公・無 ) 反対3( 共 )
- (4)の議案……賛成25( 無 ) 反対8( 共・公・無 )

#### そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 養護老人ホームとよおか管理組合議会議員の選挙
- (3) 閉会中の継続調査
- (4) 市議会議員の派遣